

ケアセンターけやき

症 例 概 要 利用者氏名：F・A様（70代・男性） 要介護3
利用期間：平成28年4月～現在
病名：パーキンソン病
既往歴：心房細動・高尿酸血症
経過：平成26年頃から動作緩慢、小刻み歩行、仮面様顔貌などが認められ、平成27年10月に近隣受診しパーキンソン症候群の診断を受ける。
平成28年4月からリハビリテーション目的にて通所リハビリテーション利用開始。

内 容

F・A様は病気の影響から円背が進み、姿勢を保つことができず、歩行時もふらつきがあり、見守りが必要な状態でした。また、薬の影響もあり、覚醒の悪い状態が続いていて、通所リハビリ中も覚醒の悪く、転倒の危険性が高い状況でした。

定期カンファレンスの中でF・A様に、何か楽しみを見つけながら行えるものはないか検討している時に、『送迎の時に、F・A様から、「これを聞きたい」とCDを預かったことがあり、車内で聞いたところ、F・A様がギター演奏しているバンドの楽曲で、あまりの上手さに送迎スタッフ、同乗していた他の利用者も驚いたことがありました。』という報告がありました。

その出来事を踏まえ、担当スタッフから「もう一度ギターを弾きませんか?」と提案しました。当初は「病気もあって指が思うように動かないから、もう上手く弾けない。」と消極的でしたが、ギターを弾きやすくなる運動を取り入れることで、徐々に効果が現れると、今度は介護スタッフと一緒に実際のギターを使用して、A様の好きなベンチャーズ「パイプライン」の練習を開始しました。利用開始当初は、週2回の利用でしたが、週3回に増回して積極的に取り組んでいきました。練習を重ねることで、少しずつ弾けるようになり、目標としていた「パイプライン」を弾けるようになりました。

曲が弾けたタイミングで「発表会を行いましょ!」とスタッフから提案し、敬老会でライブを実施し大成功に終わり、A様には本当に喜んで頂けました。その後も「定期的に行いたい。」とのコメントが聞かれ、通所リハビリに来所する日も重なったことで、12月にデイケアで開催したクリスマス会でライブをする運びとなりました。練習を重ねることでクリスマス会には5曲まで弾けるようになりました。F・A様とスタッフ全員で練習は前日のみでしたが、本番当日も敬老会よりも上手いき大成功に終わりました。

「本当にありがとう、気持ちよかった!」とF・A様は何度も嬉しそうにコメントされておりました。

今では「お口の体操時のギターや誕生日の時のギターも俺が弾くよ!」と笑顔で話され、日々楽しく通所リハビリにお越し頂いています。